

# 国際小児がんデー 啓発キャンペーン報告書

2017.2.1～3.31



CCAJ

公益財団法人 がんの子どもを守る会

Children's Cancer Association of Japan

後援：厚生労働省

---

がんの子どもを守る会は、1968年に小児がんで子どもを亡くした親たちによって設立され、小児がんが治る病気になってほしい、また小児がんの患児・家族を支援しようという趣旨のもと活動している団体です。

——毎年2月15日は「国際小児がんデー」です。

## International Childhood Cancer Day

毎年世界中で17万5千人もの子どもたちががんと診断され、

そのうちのおよそ9万人の子どもたちが幼い命を奪われています。

こうした厳しい現実を知ってもらう目的で、国際小児がんの会（CCI\*）は、

毎年2月15日を「国際小児がんデー」とし、2002年以来、世界中の

団体と連携してさまざまなキャンペーンやイベントを実施しています。

当会もこの趣旨に賛同し、毎年この時期に「国際小児がん月間」を設け、

小児がんに対する理解と支援の輪が広がることを目指して、本部・支部、

会員、ボランティア、支援者が一体となり、全国一斉に小児がん啓発

キャンペーンを展開しています。

小児がんの医療が向上し、療養環境が一層整備されていくことを

心から願っています。



\*CCI（Childhood Cancer International）とは・・・



世界中の小児がん患者が最善のケアを受けることができるように、情報や経験を分かち合うことを使命として設立された連盟です。2016年現在、93か国から183の親・経験者の会が加盟しており、国際的なネットワークを築いています。

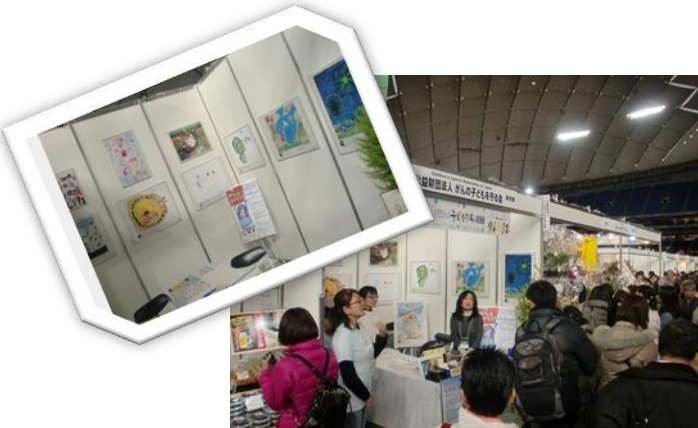
がんの子どもを守る会は、世界で最も歴史のある小児がん親の会として1997年より加盟しています。





# 活動の様子

公共施設や病院、ショッピングモールの一角を使って、小児がんの子どもたちが描いた絵画のパネルや小児がんの資料展示、イベントを行いました。一般の方が多く立ち寄る場所での常設展示は、小児がんの認知度向上に一役買ってくれたことと思います。



毎年15万人が来場する世界らん展(東京ドーム)にブースを出展。多くの方が子どもたちが描いた絵画を熱心にご覧いただきました。



福岡県庁でのロビー展



アフラック福岡総合支社

東京都文京区のシビックセンターで絵画展開催



INTERNATIONAL CHILDHOOD CANCER DAY  
 国際小児がんデー  
 小児がんの子どもたちの絵画展  
 in アートサロン(文京シビックセンター1階)  
 2017年  
 1月30日(月) 12:00-19:00  
 1月31日(火) 10:00-19:00  
 2月1日(水) 10:00-16:00  
 入場無料



国立成育医療研究センター、難病の子ども支援全国ネットワークと共催で2月11日小児がんデーイベント「もっと知りたい小児がん-支援の輪を広げよう-」を開催しました。国立成育医療研究センターでは2月1日~11日まで、ロビーで絵画パネルの展示をしていただきました。



神奈川県大和市文化創造拠点「シリウス」(大和市立図書館)で2月19日~3月5日の間、小児がんの子どもたちの絵画パネル展示、小児がんの情報提供、そして講演会と啓発活動を行いました。



駅や街頭、ショッピングモールなどで、啓発チラシやポケットティッシュの配布、募金活動を行いました。

また、各地で、小児がんについて考えるシンポジウム、講演会なども開催し、小児がんの現状や当会の活動を紹介し、患児・家族の抱える問題などに触れ小児がんへの理解を呼びかけました。



きょうだいや同級生をがんで亡くした学生や、私立土佐中高等学校インターアクト部、私立学芸中高等学校マンドリン部、高知県立大学看護大学院生などにお手伝いいただきました



東海支部による名古屋松坂屋北館前での活動



岡山支部による岡山駅東口での活動



講演後は募金活動にご協力いただきました



ノバルティスファーマ様での小児がんの講演会の様子。絵画パネルの展示をさせていただきました。



静岡支部によるサントムーン柿田川での活動



神戸フィルハーモニックコンサート会場にて。指揮者の方も、募金への呼び掛けをしてくださいました。



小児がん経験者による有楽町(東京都)駅前での啓発・募金活動



高尾山(京王線高尾山口駅)での啓発・募金活動

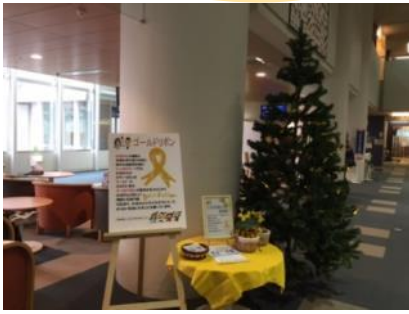
### ご協力いただいたイベントなど

世界らん展2017、アニマルウォーリアー(ロードウォーリアーズ)&中島勝彦(NOAH)&丸藤正道(NOAH)合同イベント(協力:小橋建太)、神戸フィルハーモニーニューイヤーコンサート2017、他多数。(掲載順不同)



# ゴールドリボンツリー

ゴールドリボンツリー（小児がんのシンボルである「ゴールドリボン」で装飾したツリー）が地域でも広がり、ツリーが賑やかに装飾されたり、応援メッセージがたくさん寄せられたりするなどの反響がありました。



福井済生会病院



結ぶリボンの準備



福岡県庁ロビー

## ゴールドリボンツリーにいただいた 温かいメッセージの一部(九州大学病院)



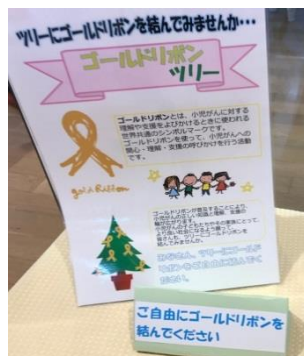
岡山大学病院

現在支部のない鹿児島県でも会員さんのご尽力で、7か所にゴールドリボンツリーが輝きました



温かなメッセージが  
たくさん寄せられました

大和市立図書館



子どもフロアに設置されたツリーには、子どもたちの手で  
床ぎりぎりまで、ぎっしりとリボンがむすばれました

福岡県内のショッピングモール内  
店舗でも大きなツリーが飾られました



広く全国に小児がん啓発をするために、当会本部・支部が一丸となり早くから多方面に協力を呼びかけました。今年初めて参画いただいたところもあり、全国での取り組みをはじめて4年目の成果も出て参りました。

おかげさまで、2017年2月1日～3月31日のキャンペーン期間中に 3,480,954円の募金・寄付が集まりました。集まった募金・寄付は小児がんの子どもや家族のために 活用するとともに、その一部は、CCIを通じて発展途上国の小児がん医療向上に役立てていただきます。

## 啓発・チャリティグッズ



ゴールドリボンバッジ

本年は、チャリティチョコレートを中心に啓発・チャリティグッズを頒布し、会報誌やリリース等でご紹介したところ、大変多くのご協力をいただきました。

オリジナルチョコレート

約5,000個

ゴールドリボン(バッジ&ストラップ)

約570個



ポストカード



啓発ポケットティッシュ



チャリティチョコレート



ボランティアさんたちの手で  
一つ一つ丁寧にパッケージ

2017.2.15 国際小児がんデーキャンペーン  
チャリティ  
ゴールドリボン  
チョコレート

500円以上の募金(寄付)をいただいた方へ、ゴールドリボンを通してオリジナルチョコレート(1個60円)を差し上げます。  
\*規定までのご用意となります。

2017.2.15 国際小児がんデーキャンペーン  
チャリティ  
ゴールドリボン  
チョコレート

2017.2.15 国際小児がんデー

2月15日は国際小児がんデーです。  
世界中で小児がんの子どもたちのための支援を呼びかける活動が展開されています。

子どもにもがんがあります。  
ご存じですか? 小児がんのこと

- 日本では、年約2,000人の子どもたちが新たに小児がんと診断されています。
- 種類によっては7~8割が治療を終えられますが、年間約500人の命が奪われています。
- 大人のがんと異なり、生活習慣に起因するものではありません。
- 長期の療養が必要となり、学校や家庭など生活面に様々な影響があります。
- 治療を終えた後も、心身に課題を抱え、自立や就労に困難を伴う場合があります。

CCJA  
国際小児がんの子どもを守る会  
Childhood Cancer International of Japan

公益財団法人がんの子どもを守る会(CCI)は、1968年の創設以来、小児がんの患者、家族の救済として、小児がんの子どもと家族を支える活動を続けています。

公益財団法人がんの子どもを守る会(CCI)は、1968年の創設以来、小児がんの患者、家族の救済として、小児がんの子どもと家族を支える活動を続けています。

チャリティチョコレートに  
添えた啓発カード



4Aサイズ啓発チラシ/キャンペーン申込書  
A2サイズ啓発ポスター



## 取りあげていただいた主なメディア

日経新聞、毎日新聞(Web)、福井新聞、日刊県民福井、FBCラジオ(福井)、NHK福井放送、山陽新聞、四国新聞、高知新聞、産経新聞高知支局、愛媛新聞、西日本新聞、南日本新聞、NHK鹿児島放送他



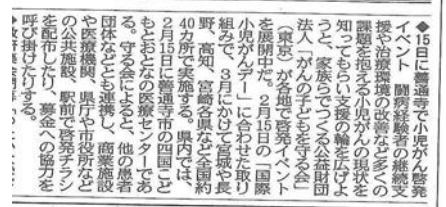
日経新聞(2月4日)



NHK福井放送(2月23日)



愛媛新聞



四国新聞



西日本新聞(2月15日)



岡山市立中央図書館の Facebook



## ご協力いただいた行政機関、公共施設、病院、企業など

北海道庁、宮城県庁、国立成育医療研究センター、神奈川県立子ども医療センター、福井県済生会病院、敦賀病院、本馬医院(福井県)、敦賀市役所、大阪市天王寺、岡山大学病院、岡山市立中央図書館、広島大学病院、四国こどもととなの医療センター、いのうえ小児科(愛媛県)、九州大学病院、福岡県庁、宮崎大学病院、日南市立北郷中学校(宮崎県)、敦賀気比高等学校インターアクトクラブ、敦賀市立看護大学ボランティアサークル、福井県立若狭高等学校JRC部、富山福祉短期大学看護学科、宮城県民共済生活協同組合、介良中学校吹奏楽部、土佐中・高等学校インターアクト部、学芸中・高等学校マンドリン部、日本小児血液・がん学会、日本小児がん看護学会、日本小児外科学会、日本小児がん研究グループ、東京都、文京区、大和市立図書館(神奈川県)、株式会社FortuneKK、株式会社なゆた、資生堂株式会社、日本チャールス・リバー株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、明治安田生命保険相互会社、アフラック(イオンマリナタウン店、イオンモール香椎浜店、イオン穂波店、イオン大塔店、他)、イオン新潟青山店、高知イオンモール、サントムーン柿田川、ゆめタウン夢彩都、他多数の個人、団体、企業さまからご協力いただきました。(順不同、敬称略)

(活動場所をご提供をいただいた施設など全て掲載できずに大変申し訳ございません。)

## 公益財団法人 がんの子どもを守る会

本部 〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-3-12  
TEL : 03-5825-6311 FAX : 03-5825-6316

大阪事務所 〒541-0057 大阪府大阪市中央区北久宝寺2-3-1  
TEL : 06-6263-1333 FAX : 06-6263-2229